

参考資料

- ・各対象施設の概要
- ・保育園の仮移転先を図書館用地とした場合の影響
- ・中学校に他の施設を併設するとは？
- ・対象施設の利用者との意見交換

各対象施設の概要

西宮中学校の概要①

●教育目標

心豊かな人（徳）

自ら学ぶ人（知）

健康な人（体）

●西宮中学校の生徒数・学級数 （令和6年(2024年)4月時点）

生徒数	学級数
354	11



●西宮中学校の施設規模

敷地面積	校舎面積	運動場面積 (有効面積)	体育館面積	プール
10,808㎡ (直近の測量結果 10,077㎡)	5,033㎡	4,635㎡	843㎡	25m × 10.2m

西宮中学校の概要②

●西宮中学校 校舎の状況

昭和36年(1961年) 設立

(区立宮前中学校西分校が独立し
区立西宮中学校として設置される)

昭和38年(1963年) 体育館完成

昭和39年(1964年) プール完成

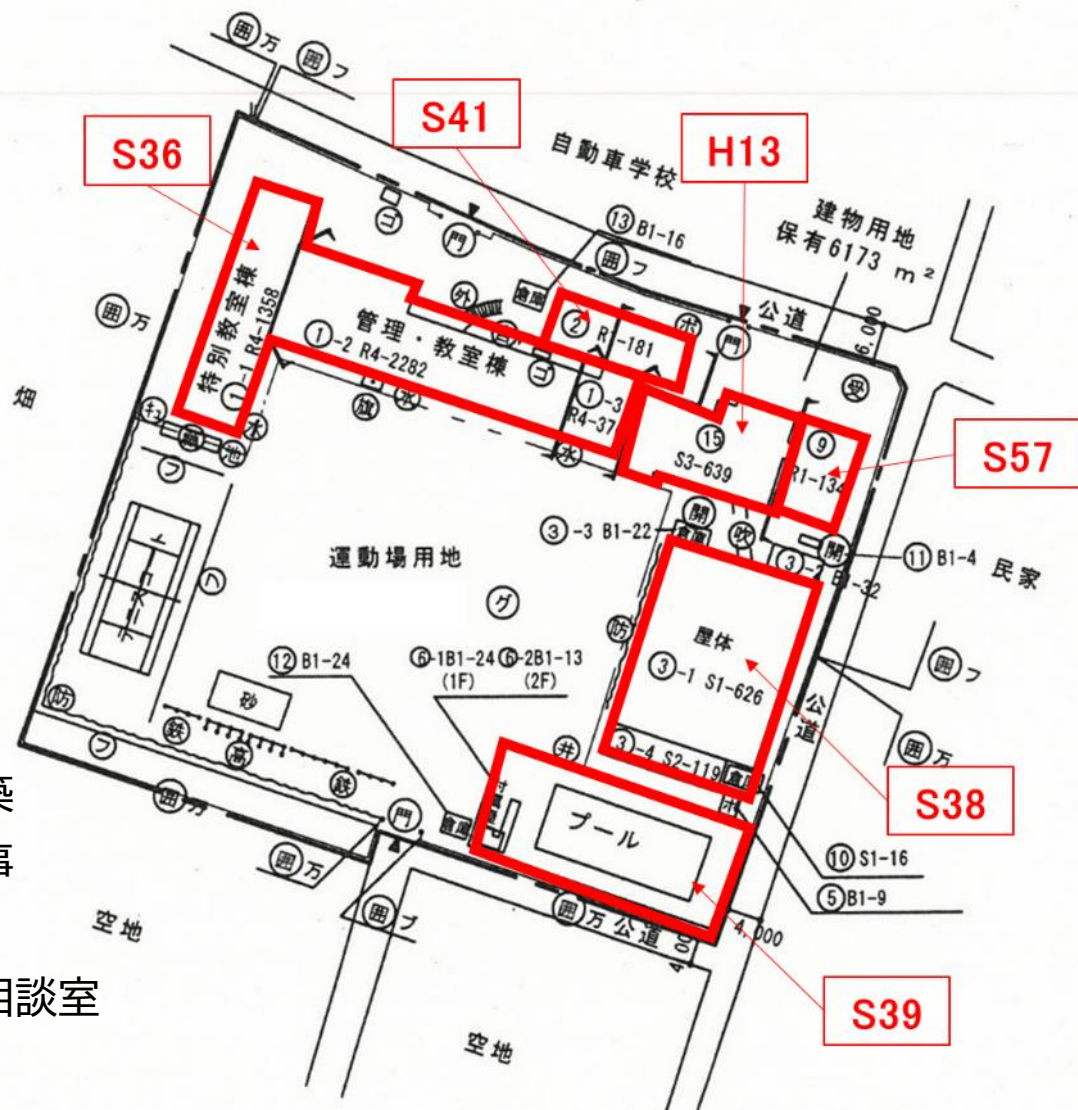
昭和41年(1966年) 給食室完成

昭和55年(1980年) テニスコート、
校庭フェンス等
工事完了

昭和57年(1982年) 家庭科室部分増築

平成12年(2000年) 校舎耐震補強工事

平成13年(2001年) 北東校舎改築
1階会議室・教育相談室
2階多目的室



宮前図書館の概要①

○開設年月日:昭和47年(1972年)11月1日※以下数値は令和5年3月現在

○蔵書数:120,488冊

○個人貸出 貸出人数:106,596人 貸出冊数:388,928冊
団体貸出 登録団体数:102団体 貸出冊数: 16,759冊

○分担収集分野:明治以前の日本文学

○敷地面積 1691.49㎡ (許容容積率100% ※建築当時は容積率指定なし)

○既存延床面積 1,974.02㎡ (建て替え時の許容延床面積1691.49㎡)

○建物概要 地下1階・地上3階、鉄筋コンクリート造、築51年、エレベータ未設置

○指定管理者:TRC・大星すぎなみグループ

○宮前図書館の特徴

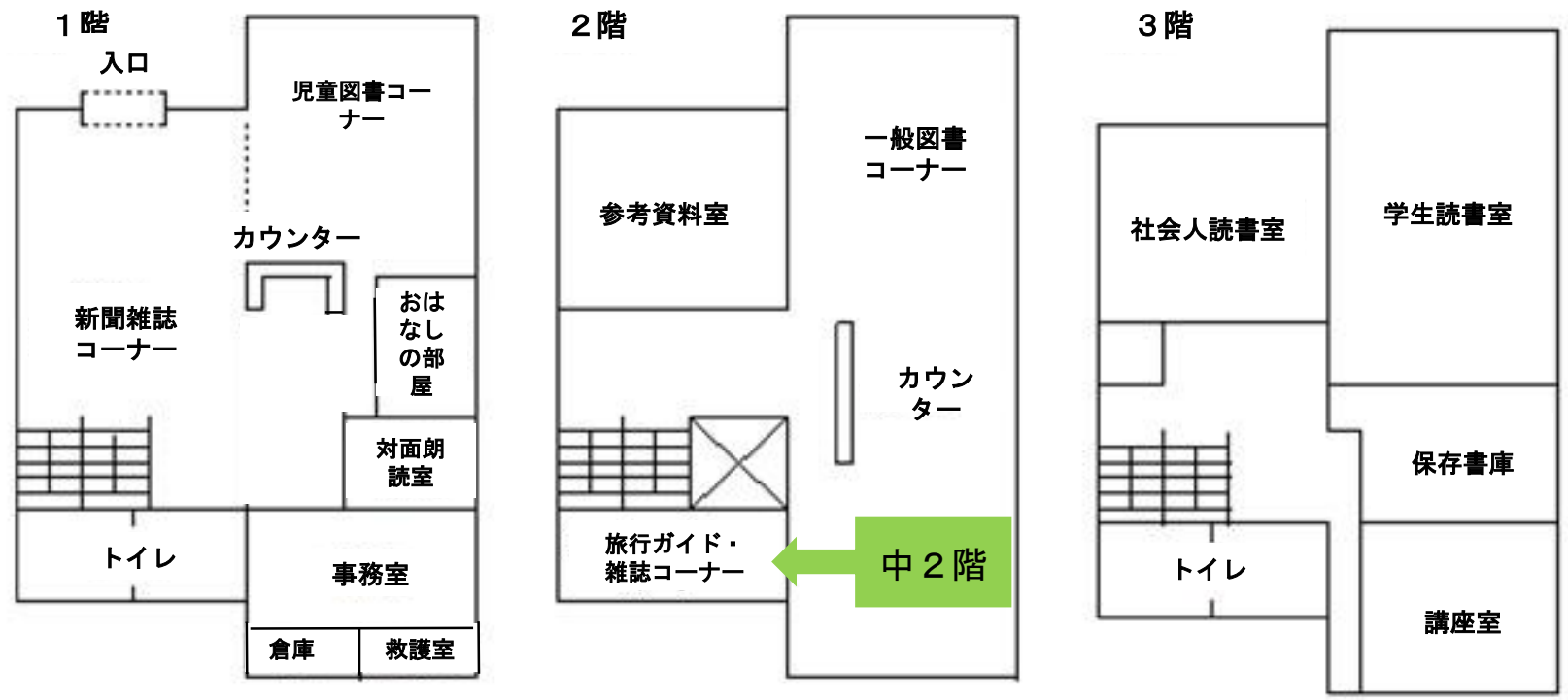
- ・中2階に踊り場を利用したスペースがあり、資料の展示や座席を設置
- ・3階に2つの読書室を設置し、図書館全館の座席数は一般152席、児童22席
- ・さまざまな世代向けの講演会等のイベント事業は、3階の講座室で開催
- ・お話し会は、1階のおはなしの部屋で開催



(内観写真提供)
宮前図書館運営事業者

宮前図書館の概要②

《施設平面図》



地下1階	機械室
------	-----

1階	児童図書コーナー
	おはなしの部屋
	新聞雑誌コーナー
	事務室

2階	一般図書コーナー
	参考資料室
中2階	旅行ガイド・雑誌コーナー

3階	講座室
	保存書庫
	学生読書室
	社会人読書室

地域図書館（中央図書館を除く区立図書館）の概要

図書館名	永福	柿木	高円寺	宮前	成田
延床面積	1,170.13㎡	1,162.61㎡	1,895.28㎡	1,974.02㎡	851.38㎡
蔵書数	102,370冊	110,427冊	118,628冊	120,488冊	89,287冊

図書館名	西荻	阿佐谷	南荻窪	下井草	高井戸
延床面積	1,195.38㎡	1,086.67㎡	1,061.24㎡	1,104.30㎡	1,622.89㎡
蔵書数	135,327冊	113,462冊	120,092冊	118,806冊	121,763冊

図書館名	方南	今川
延床面積	815.16㎡	1,096.04㎡
蔵書数	108,596冊	112,049冊

(令和5年3月末現在)

さざんかステップアップ教室とは

- 不登校またはその傾向にある児童生徒を対象に、教室での集団生活への適応、基礎学力の補充、体験的な活動などの教育支援を行い、まずは安定して通室できるような支援を行います。
- 通室が安定してきたら、教室の職員(指導員・心理士)と一緒に次のステップを考えていきます。学校復帰だけが目的ではなく、児童生徒がそれぞれに合った目標や進路を見つけることを目指しています。
- 各教室によって時間割りや活動内容に特色があり、通室頻度や通室時間は本人の状態や希望に合わせて決めることができます。遠足や社会見学、宿泊などの行事も行っています。

教室名	対象者	登録者数	設置場所	設置年度
宮前教室	小学校5・6年生、 中学生	小:8人 中:37人	宮前5丁目5番27号 宮前図書館併設	平成27年9月 (2015年)
天沼教室	中学生	42人	本天沼3丁目10番20号 天沼中学校併設	平成5年11月 (1993年)
和田教室	中学生	31人	和田1丁目41番10号 3階 ゆうゆう和田館等併設	平成13年9月 (2001年)
荻窪教室	小学生	65人	天沼3丁目15番20号 3階 旧若杉小学校内	平成24年7月 (2012年)

さざんかステップアップ教室「宮前教室」の概要①

【施設の情報】

- ・延床面積:350.63㎡
- ・教室(64㎡)2部屋、相談室(19㎡)2部屋、
個別支援室(30㎡)2部屋、事務室(30㎡)、トイレ・倉庫等

【利用者について】

- ・登録児童・生徒数 45人(令和5年(2023年)度)
- ・1日当たりの通所者数 10人~15人程度
- ・対象地域 杉並区内全域



軽スポーツの実施



交流の場



小集団活動

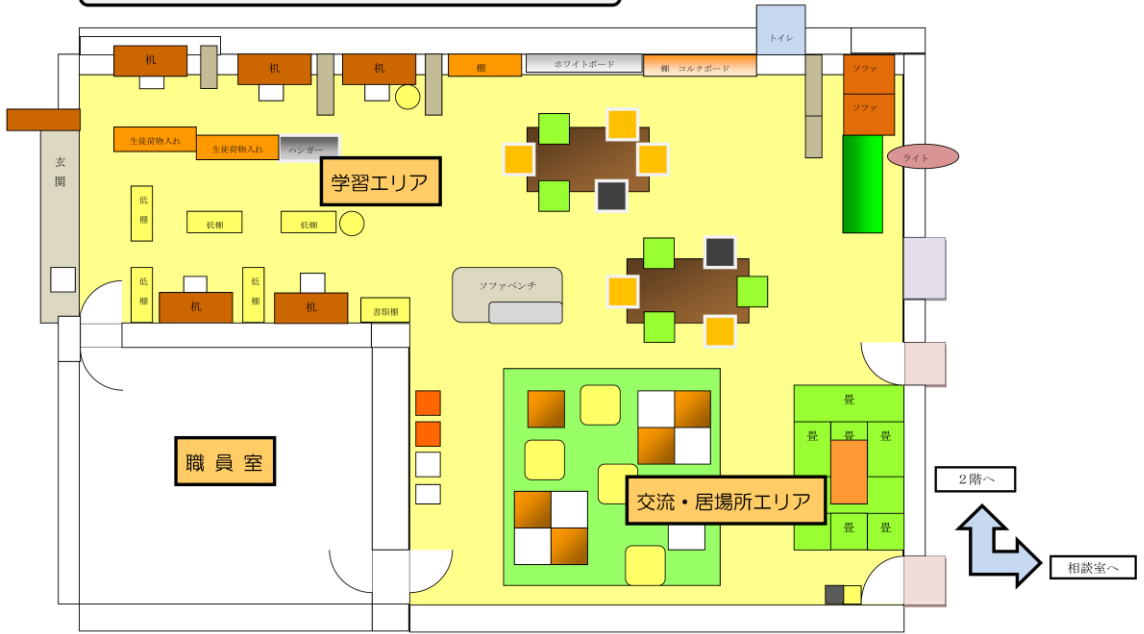


個別学習

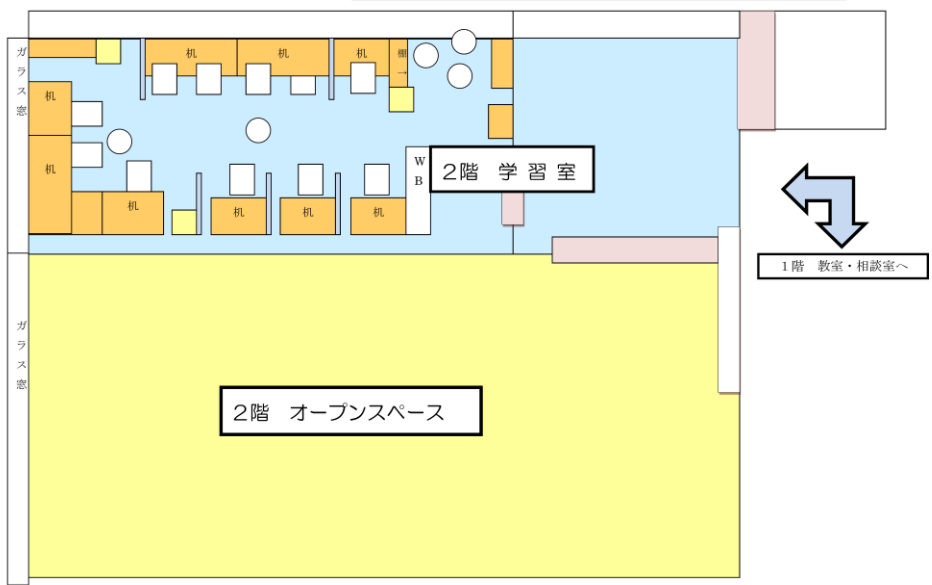
さざんかステップアップ教室「宮前教室」の概要②

さざんかステップアップ教室「宮前教室」レイアウト

【1階】



【2階】



※2階オープンスペース等は、以前の施設(旧高井戸区民事務所宮前分室)で会議室を利用していた、宮前地区町会連合会、宮前五丁目北地区防災防犯会、宮前五丁目南地区防災防犯会、宮前青少年育成委員会が、通所児童・生徒の施設利用時間外に、会議等で利用することがあります。

ゆうゆう館とは①

○利用対象者:杉並区にお住まいの**60歳以上**の方々

○施設数:**27施設**(令和6年(2024年)4月1日時点)

※昭和38年(1963年)に上荻窪敬老会館を開設して以降、各地域に3~6か所(合計32館)の敬老会館(現ゆうゆう館)を設置してきました。

現在は、32館のうち、5館をコミュニティふらっとに機能継承しています。

○開館時間:午前9時~午後9時、(日曜日・祝日)午前9時~午後5時、(第3木曜日)午後1時~午後9時

○利用方法

①個人利用:一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ、囲碁、将棋などを自由に利用可能です。お一人でもご利用になれます。

②団体利用:趣味やいきがづくりなどの活動(※)に、洋室、和室、茶室、講座室、多目的室、ホールなどを利用できます。 ※コーラス、カラオケ、体操、書道、囲碁、輪投げなど

③目的外使用:空いている部屋がある場合は、一般の方も使用できます(要事前予約/有料)。

○実施事業(協働事業)

各ゆうゆう館の施設運営業務を担うNPO法人などの団体が、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」などに関する講座・催しを実施しています。

事業により参加費がかかります。

一部を除き、高齢者に限らず参加できるので、多世代で楽しむことができます。

協働事業例:スマホ講座、囲碁、卓球、ヨガ、コーラスなど



ゆうゆう館とは②

○施設の特徴

- ・築40年以上の施設が16館あり、施設の老朽化が進んでいます。
- ・他施設(特に保育園)との併設が多くみられます(保育園との併設:12館)。

○利用人数の推移等(ゆうゆう館全体) ※協働事業参加者等を含む (利用人数)

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
394,142人	184,956人	242,131人	263,188人	276,156人

(年齢別利用者割合(令和5年(2023年)度 ※ゆうゆう今川館を除く、協働事業参加者等を含む)

60歳未満	60代	70代	80代	90歳以上
3.9%	7.8%	40.8%	41.9%	5.6%

○高齢者の区立施設の利用に関するアンケート(令和5年(2023年)6月実施)

(対象)無作為抽出した60歳以上の区民1,400人

(回答)462人/1,400人(回答率:33%)

(設問)趣味や学習、運動等の活動をどこの区立施設で行っているか。

ゆうゆう館	区民集会所、区民会館	コミュニティふらっと	その他区立施設	区立施設を利用していない
16.5%	10.0%	3.1%	20.2%	50.1%

○ゆうゆう館の抱えている課題

- ・夜間の利用率が低い施設がある など

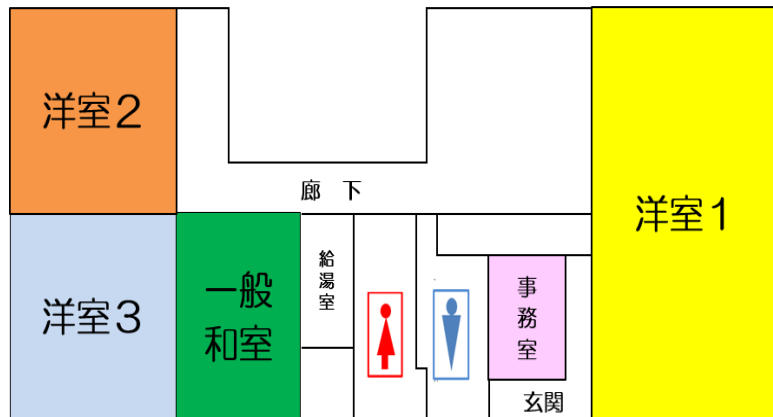
※利用率の向上に向けて、一般利用がしやすいようにさざんかねっとで施設予約ができるようにする予定

ゆうゆう大宮前館の概要①

○築年数、延床面積、部屋数 など

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
59年	199.44㎡	57.9㎡	22㎡	23.7㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置

○平面図



洋室1



洋室2



洋室3



ゆうゆう大宮前館の概要②

○活動団体数:25団体(令和6年度(2024年度)上半期)
 団体人数:254人(令和6年度(2024年度)上半期)

○利用者の傾向

- ・70代、80代の利用者が多い(令和5年度(2023年度))
 - ・団体利用の登録は周辺住民(※)が多い(約65%)
- ※施設から半径500m圏内の丁目にお住まいの方

60代	70代	80代	90代以上
11.4%	37.9%	45.8%	2.1%

※小数点第3位四捨五入

○稼働率(茶室等を除く)

(令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	49%	82%	84%	26%
洋室2		58%	66%	3%
洋室3		54%	46%	1%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率
 ⇒約58%(高齢者活動支援センターは含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	48%	69%	76%	17%
洋室2		65%	73%	1%
洋室3		63%	47%	1%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率
 ⇒約50%(高齢者活動支援センターは含まず)

○利用人数の推移(ゆうゆう大宮前館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
9,442人	5,155人	7,149人	7,617人	8,289人

大宮前保育園の概要①

【施設の情報】

築年数 : 59年

敷地面積: 1,057.85m²

延床面積: 331.02m²

園庭面積: 505.47m²

【定員数、在籍児童数】

定員数 : 72人

在籍児童数: 68人

※令和6年(2024年)4月時点
在籍児童数は3・4月が少なく、
12・1月に多くなる傾向にあります。

【大宮前保育園の特色】

○1階施設なので、どのクラスの
部屋からもすぐ園庭に出ることが
できます。

○公園が隣接しており、さらに少し
足を延ばせば様々な公園があるな
ど、静かで自然豊かな環境に恵ま
れています。

【平面図】



大宮前保育園の概要②

【4・5歳児室(兼ホール)】



【2歳児室】



【園庭】



「コミュニティふらっと」とは

『乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に
利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ
施設』

集会室などの貸室は、町会・自治会の活動や、文化や趣味等のグループ活動に利用できるほか、講座や多世代交流イベントへの参加を通じて、身近な地域における世代を超えた交流や、コミュニティづくりができます。

ラウンジは、予約なしに誰でも利用することができるスペースです。地域の方々のちょっとした打合せはもちろん、読書や勉強、飲食しながらおしゃべりなど、様々な利用ができます。

コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ



施設の規模に応じて、地域の発表会や多世代交流イベントなどに活用できるように、集会室よりも広さのある多目的室を設置します。

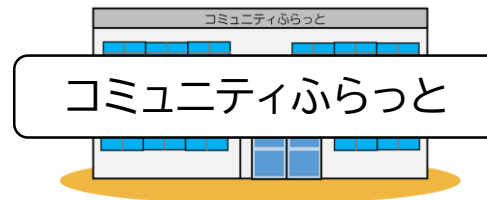
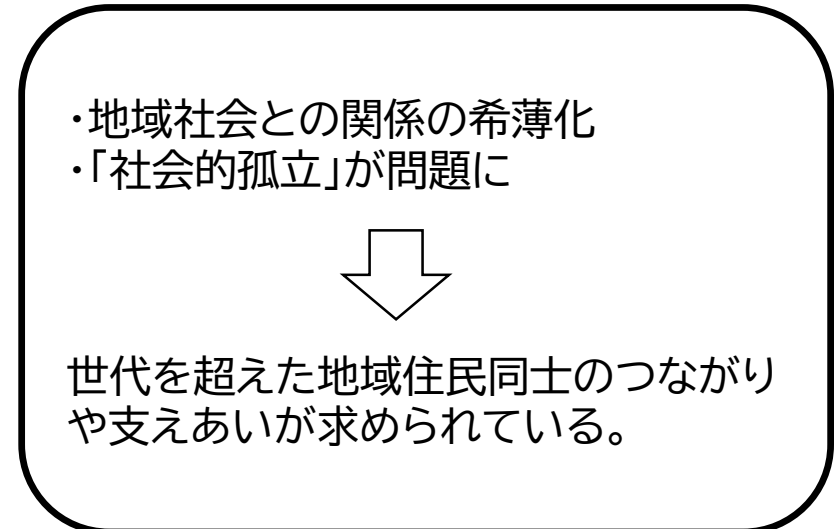
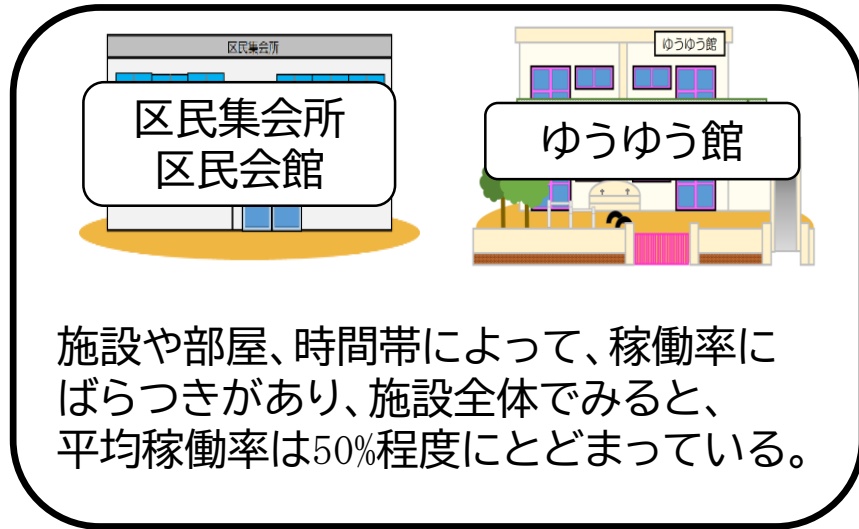
ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に高齢者団体優先枠を設け、一般利用者等とのタイムシェアをしていきます。

受付窓口では、高齢者への声掛けや日常の相談なども行い、地域の皆さんとゆるやかにつながる施設とします。

近隣に子ども・子育てプラザ等がない地域では、乳幼児親子が予約なしに気軽に利用できるスペースである乳幼児室を設置します。

コミュニティふらっと設置に至った経緯

○施設再編整備計画に基づく区民集会所やゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編



施設の有効活用や世代を超えた地域住民同士のつながりを促進する観点から、新たな地域コミュニティ施設である「コミュニティふらっと」へと再編整備する取組を進めてきた。

※現在までに、阿佐谷、東原、馬橋、永福、成田、方南の6施設を開設。

今後、新たに2施設が開設する予定。

コミュニティふらっと館内の様子

○ラウンジの一例



グループでの歓談などで利用できるよう丸テーブルを用意

個人での利用ができるよう、カウンター席を用意



コミュニティふらっとで実施するイベント等

施設の設置目的を達成するため、地域の団体や公共施設、住民の方などとも協力し、講座やサロン、おまつり(多世代交流イベント)を実施している。

○多世代交流イベントの様子



コミュニティふらっとで実施している講座の例

事業名	内容
ヨガ講座(夜間講座)	仕事帰りの方も参加できるヨガ
東原Pタイム	学校帰りにふらっと遊べる子どもたちの居場所
目からうろこのリトミック子育て講座	親子リトミック・子育ての不安などを解消するプログラム
寺子屋「学ぼう」	現役大学生などが中学生の学びを支援
ふらっと阿佐谷*美術講座	美術評論家による講座
ゆうゆうフラ	生演奏にあわせて踊るフラダンス



ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承①

「高齢者団体優先枠」とは・・・

- ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みとしている。
- 1団体当たり月に8枠(一体使用の場合は2枠という扱い)までは使用料を免除。

なお、「高齢者団体優先枠」を振らない部屋・時間帯も設けることにより、一般利用者とのタイムシェアを図っている。

高齢者団体優先枠のイメージ

	午前 (9時～12時)	延長	午後1 (13時～15時)	延長	午後2 (16時～18時)	延長	夜間 (19時～21時)
部屋A	優先枠		優先枠		優先枠		優先枠
部屋B	優先枠		優先枠		優先枠		
部屋C							
部屋D							

埋まらなかった枠は、一般利用者の枠になります。

このほか、「高齢者団体優先枠」の申込等は施設の窓口で受け付けることや、半期ごとに抽選申込を行うことなど、ゆうゆう館の運用方法を一部引き継いでいる。

ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承②

○ゆうゆう館からコミュニティふらっとへ移行した団体数

施設名	団体数	移行した団体数	割合
ゆうゆう阿佐谷館 →コミュニティふらっと阿佐谷	105	92	87.6%
ゆうゆう阿佐谷北館 →コミュニティふらっと東原	30	27	90.0%
ゆうゆう馬橋館 →コミュニティふらっと馬橋	25	25	100%
ゆうゆう浜田山館 →コミュニティふらっと成田	29	18	62.1%
ゆうゆう方南館 →コミュニティふらっと方南	27	26	96.3%
合計	216	188	87.0%

移行しなかった理由として、「コミュニティふらっとが利用していたゆうゆう館より遠くなった」、「団体のメンバーの高齢化等により、このまま活動することが難しくなっていたので、これを機会に活動をやめた」、「コミュニティふらっとの部屋がゆうゆう館より狭くなり、活動できなくなった」などの声をいただいている。

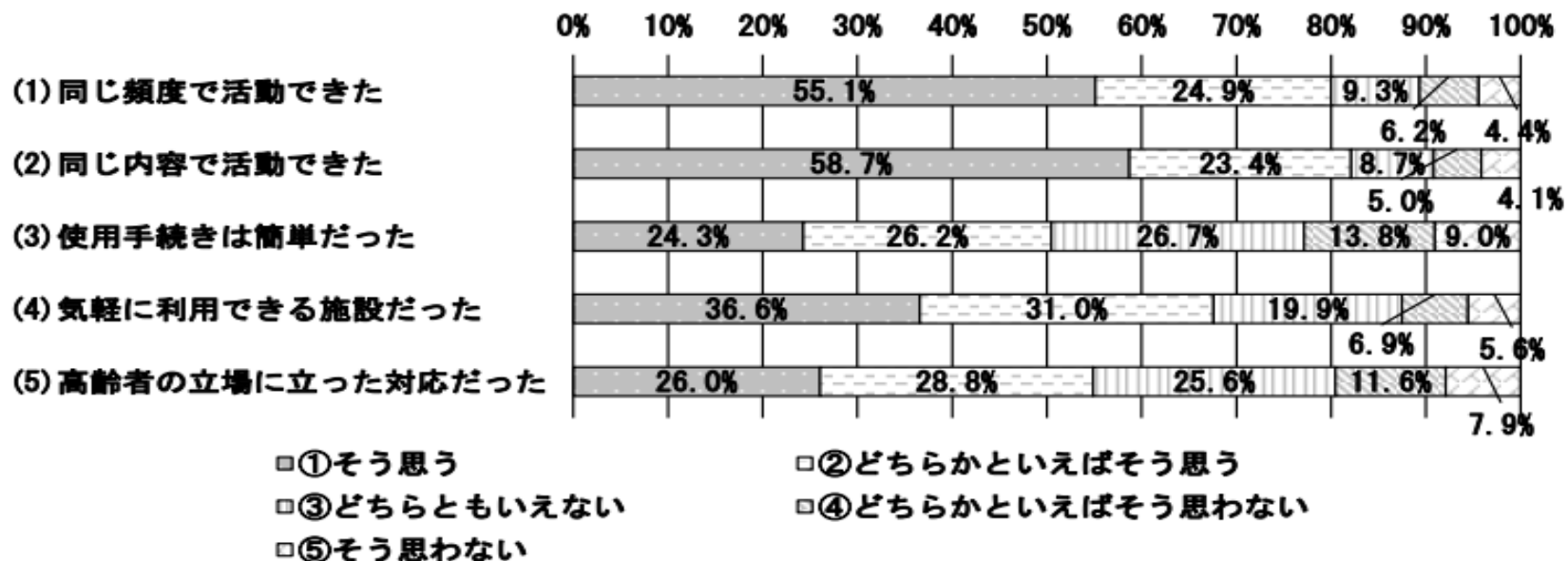
コミュニティふらっと利用者の声①

○コミュニティふらっと利用者アンケートの実施

対象	コミュニティふらっと利用者のうち、コミュニティふらっとを利用する前にゆうゆう館を利用していた高齢者団体の所属者
調査期間	令和5年3月8日～3月31日
回答者数	289人

ゆうゆう館から「コミュニティふらっと」へ活動拠点が移ることについて、「ゆうゆう館と同じ頻度・内容で活動できるのか」、「使用の手続きは簡単に行えるのか」、「今までどおり気軽に利用できるのか」などの不安を感じる利用者が多かった。

⇒実際にコミュニティふらっとへ移行した後、どのように感じたか・・・？



コミュニティふらっと利用者の声②

対象	コミュニティふらっと利用者(高齢者団体所属者含む。)
調査期間	令和5年3月8日～3月31日
回答者数	626人

【問】「コミュニティふらっと」は、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる施設、として運営しています。(1)～(3)の各項目についてどのように思うか選択してください。(各項目1つずつ選択)



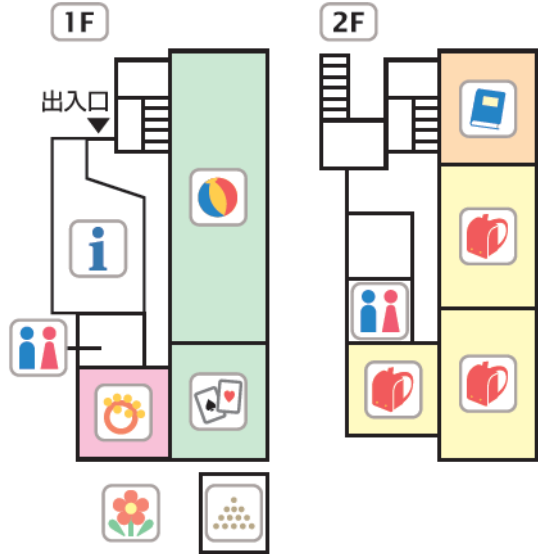
□ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらともいえない □ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない

宮前児童館（宮前学童クラブ併設）の概要

施設情報

開設年月日	昭和45年(1970年)4月15日	
延床面積／敷地面積	458.06㎡／720.90㎡	
年間利用者数 (令和5年度 (2023年度))	乳幼児	1,308名 (1日当たり:5.9名)
	小学生一般来館	4,243名 (1日当たり:19.2名)
	学童クラブ	16,320名 (1日当たり:55.7名)
	中高生	131名 (1日当たり:0.6名)
	保護者	4,957名 (1日当たり:22.4名)
学童クラブ 最大受入数／登録者数 (令和6年(2024年)4月1日時点)	93名／93名	

平面図



- ### 見取り図凡例
- 遊戯室
 - 事務室 (受付)
 - 集会室・プレイルーム
 - 音楽室
 - 図書室
 - 図工室
 - 乳幼児室
 - 乳幼児コーナー
 - 中高生ルーム・コーナー
 - 多目的室
 - 相談室
 - 会議室
 - 学童クラブ室
 - トイレ
 - バリアフリートイレ
 - 庭
 - 砂場
 - 飲食コーナー
 - ベランダ
 - 屋上

事業の概要

- 主な事業(0歳から18歳の児童のために)
 - ・子どもの遊びや自主活動の応援
 - ・さまざまな体験プログラムの実施
 - ・乳幼児親子のひろば～ゆうキッズ～ 等
- 「地域子育てネットワーク事業」

地域行事や子育て講演会・講座など、地域ぐるみで子育てを応援する活動を行うとともに、子育て中の保護者や区民の方が企画・参画する取組を進めています。
- 宮前児童館の特色

障害児重点館としているほか、高二小久我山学級との交流事業等を実施しています。

保育園の仮移転先を図書館用地 とした場合の影響

保育園の仮移転先を図書館用地とした場合の影響

保育園の仮移転先については、遊び場119番を想定していますが、仮に現在の宮前図書館の用地を活用した場合に考えられる他の施設への影響は以下のとおりです。

プラン名	影響
プラン①-1	保育園及び集会施設の工事着手・完成時期:概ね2年程度後ろ倒し 図書館休館期間:概ね3年半～4年程度増加 児童館休館期間:概ね3年程度増加
プラン①-2	保育園現地改築期間中及び、図書館と集会施設の建設期間中にゆうゆう館利用者の代替活動場所の確保が必要
プラン②	図書館及びさざんかステップアップ教室の工事着手・完成時期:概ね3年程度後ろ倒し 図書館休館期間:概ね3年半～4年程度増加 さざんかステップアップ教室仮移転期間:概ね3年半～4年程度増加
プラン③-1	保育園及び集会施設の工事着手・完成時期:概ね2年程度後ろ倒し 図書館休館期間:概ね3年半～4年程度増加
プラン③-2	図書館、さざんかステップアップ教室の工事着手・完成時期:概ね7年程度後ろ倒し 保育園、集会施設の整備:概ね2年程度後ろ倒し 図書館休館期間:概ね3年半～4年程度増加 さざんかステップアップ教室仮移転期間:概ね3年程度増加
プラン③-3	保育園現地改築期間中及び、図書館と集会施設の建設期間中にゆうゆう館利用者の代替活動場所の確保が必要

中学校に他の施設を併設するとは？

西宮中学校について

●第1～3回WSの学校に関する主な意見

- ・少人数、学年単位など今求められている教育環境の充実は重要
- ・その意味では学校単独がよいが、その場合でも、地域に開いていく仕組みが必要
- ・学校の面積を十分に確保できるのであれば他施設と併設していく可能性もある
- ・誰でも入れる施設だと防犯面に不安が残るため、動線を分けるなどの対策が必須



学校の面積及びセキュリティーを十分に確保した上で、
他施設との併設が考えられるか

本地区の施設の再編を考える上で**重要なポイント**
(ボリューム面の確認)

中学校・建物について

●敷地 約10,100㎡

●現状建物 約 5,900㎡

●指定容積率 100%

(敷地面積に対して建てられる建物の延べ面積の上限)

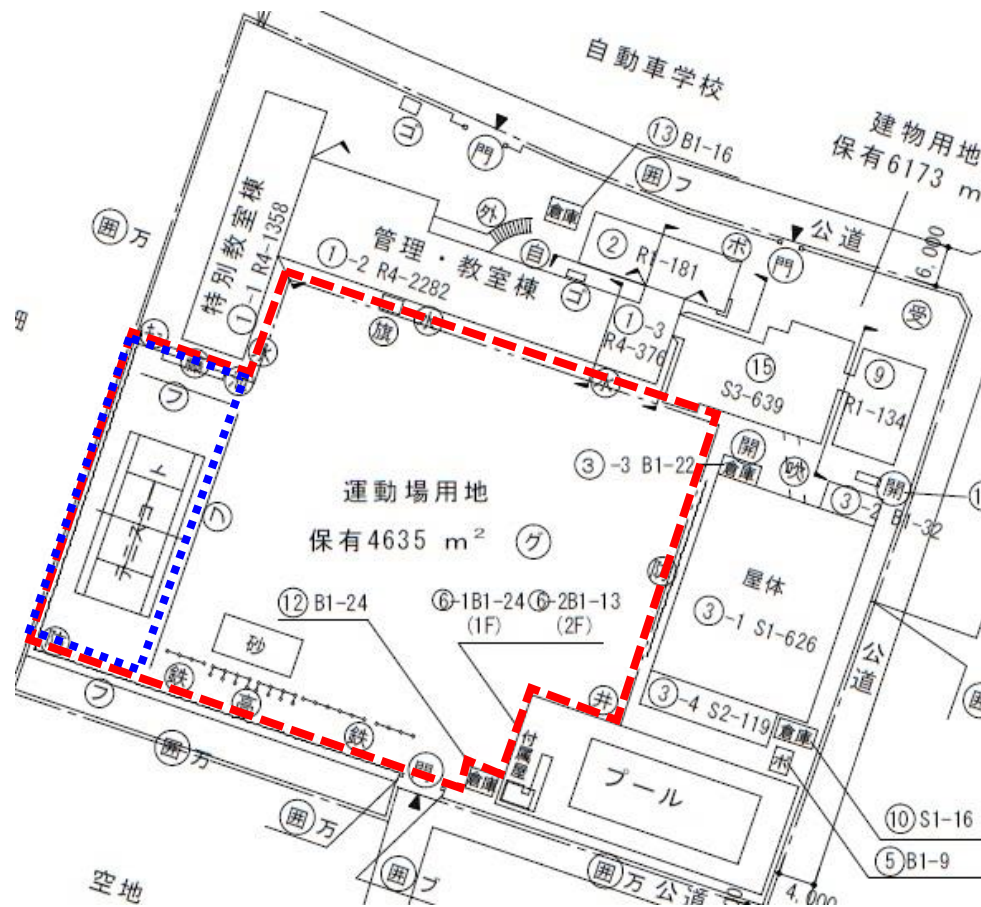
- ・最大で10,100㎡の建物が建てられる。
- ・南側の通路状敷地も取り込むことができる。

・新校舎(中学校として必要と見込まれる規模)
約7,300~7,900㎡

⇒学校施設整備計画に定める標準建物面積

多目的室、少人数教室、給食室等の充実を図るため
面積は増える

中学校・校庭①



◇現況は、約4,400m²

左図



◇内、テニスコート約800m²

左図



◇一体として使えているのは
約3,600m²程度

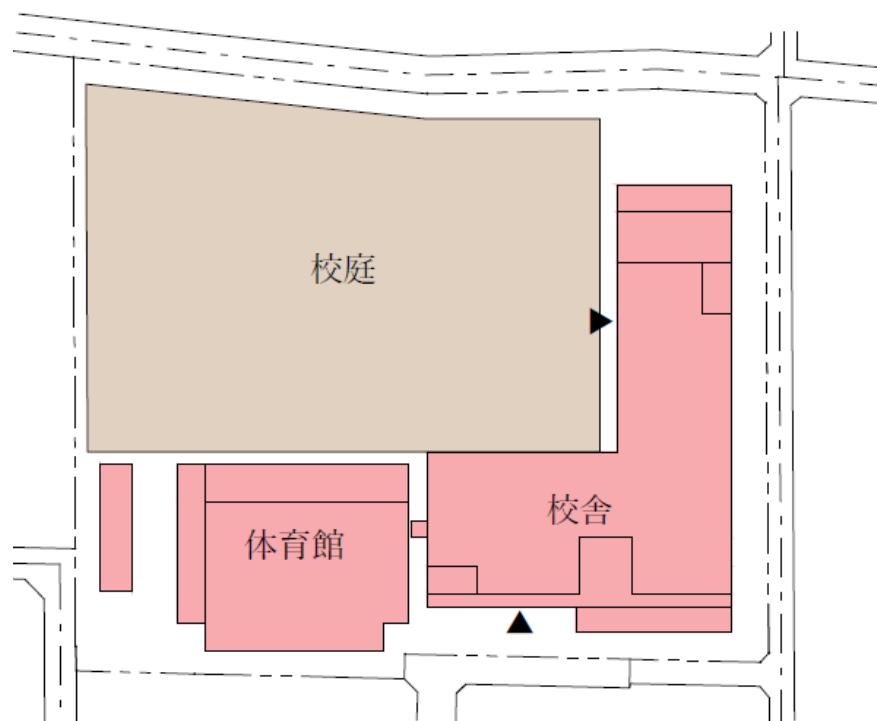
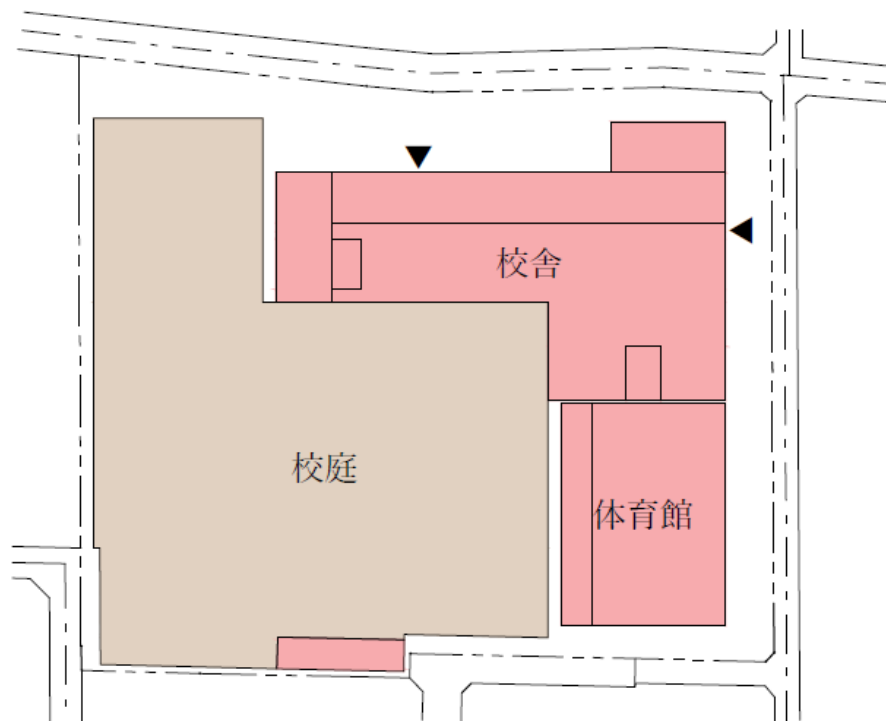
(中学校としては狭い)

懇談会やWSでも**広い校庭の確保**を求める声をいただいているため、一体的に利用できる面積を3,600m²以上確保することを前提にシミュレーションする ⇒次ページ以降

●学校単独

- ・校舎棟 4階建て
- ・地下利用 なし
- ・校庭面積 約4,600m²

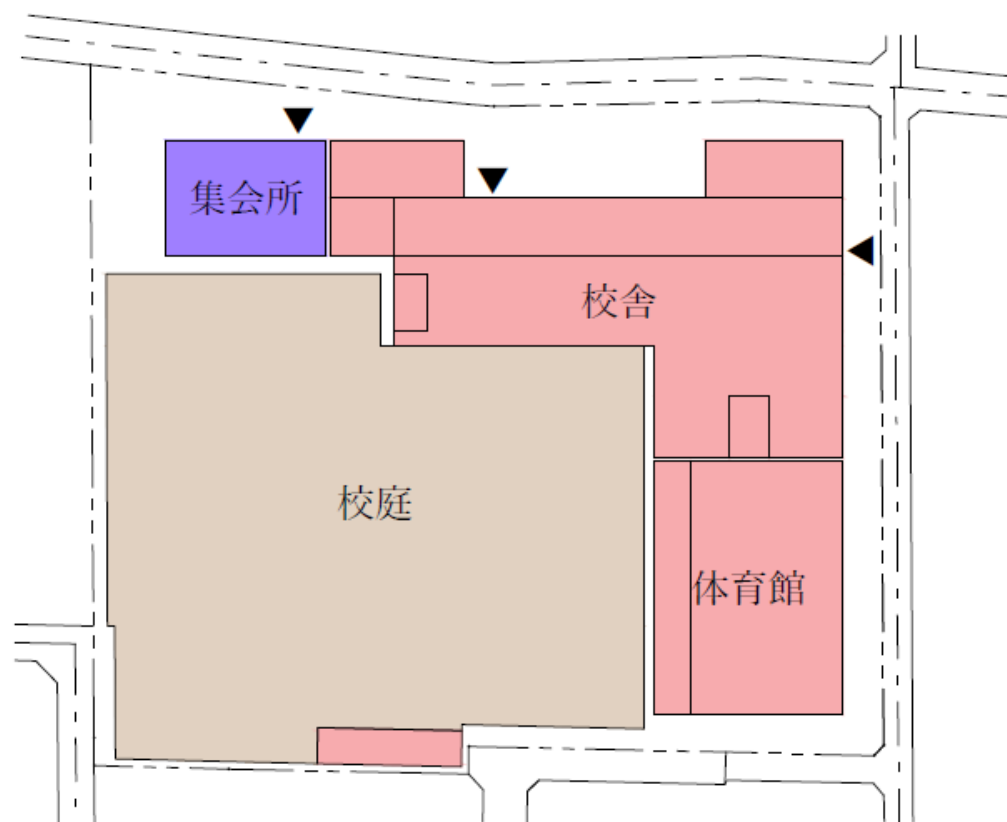
- ・校舎棟 4階建て
- ・地下利用 なし
- ・校庭面積 約4,400m²



中学校・校庭③

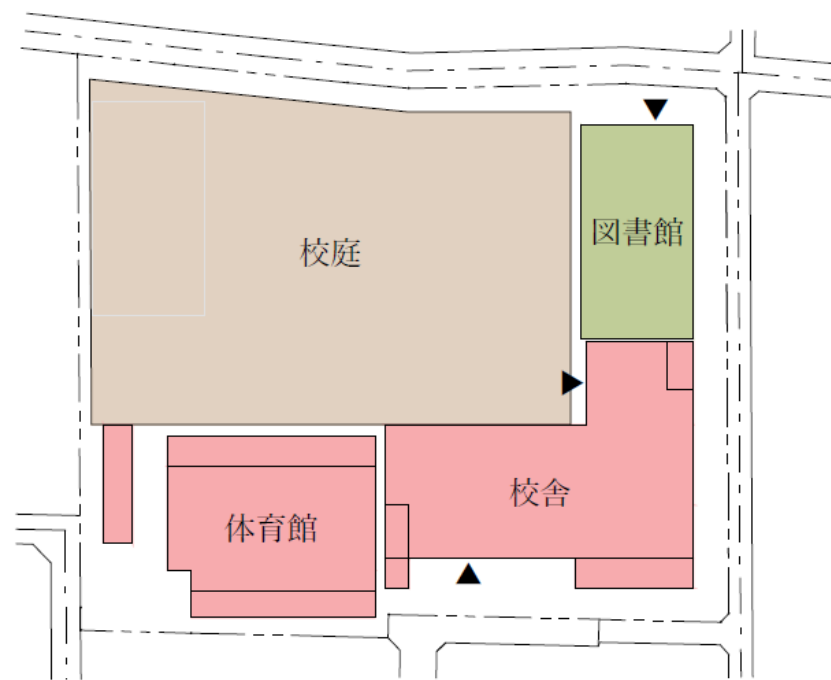
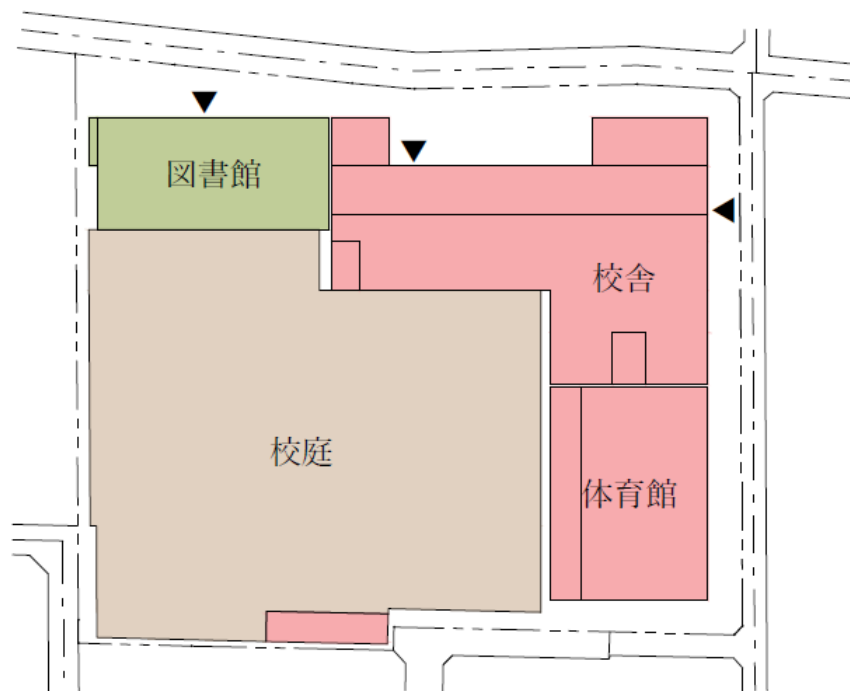
●集会施設等(約600m²)の他施設との併設

- ・校舎棟 4階建て
- ・地下利用 なし
- ・集会施設棟 2階建て
- ・校庭面積 約4,400m²



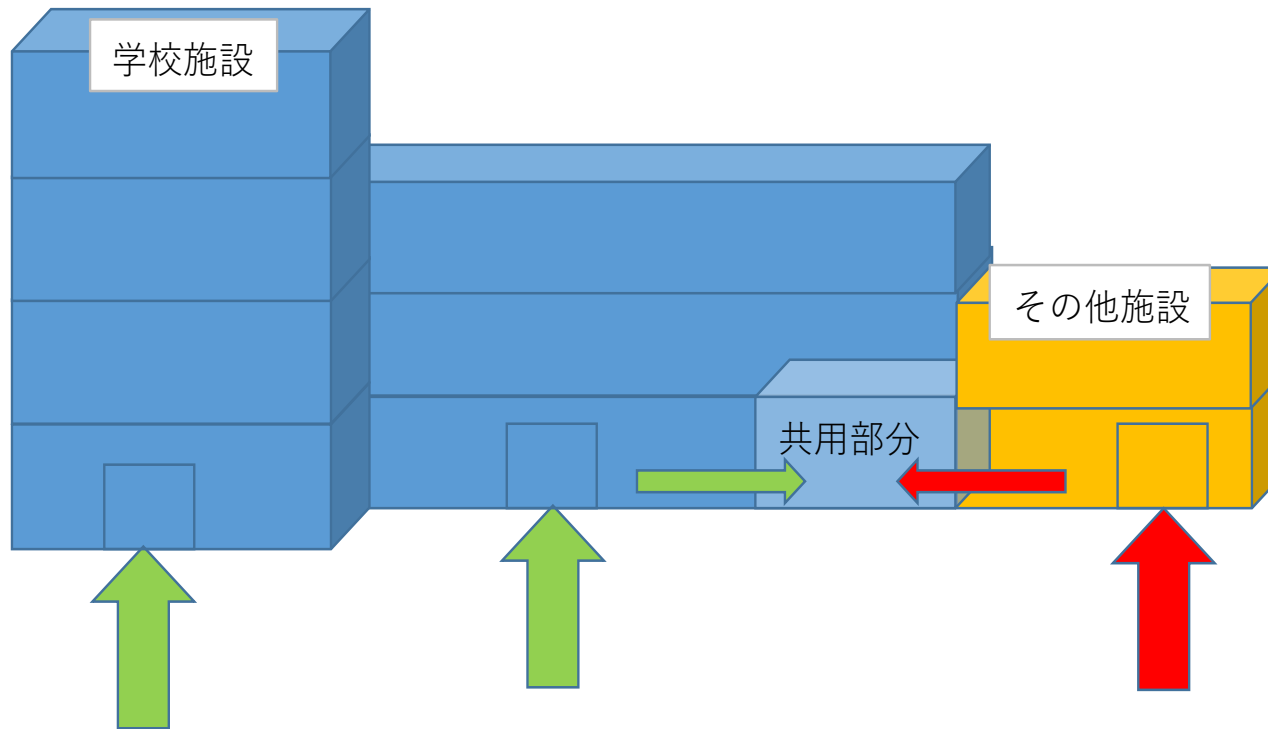
●図書館(約1600m²)との併設(参考)

- ・ 校舎棟 4階建て
- ・ 地下利用 あり
- ・ 図書館棟 2階建て
- ・ 校庭面積 約4,400m²



中学校・他施設との併設

●併設のイメージ



- ・学校と他施設が平面的に接する「併設型」が基本
- ・学校と他施設の出入り口は分けて、それぞれが独立して運営できる
- ・場合によって、双方の一部スペースを他方が使えるようにすると、施設の有効活用、整備費用の削減になる。
- ・セキュリティーの確保は十分に可能。
(接する部分は鍵付きの扉等で仕切るなど)

中学校・多機能化①

●多機能化のイメージ

教育活動に支障のない範囲において、
学校の諸室等を活用できるようにしていく
(学校開放事業、地域の活動で使用など)

学校以外
でも活用

中学校

会議室

音楽室

多目的室

体育館

中学校・多機能化②

<学びのプラットフォーム>

- 1部： 学校教育タイム
- 2部： 放課後居場所タイム
- 3部： 社会教育タイム

部活動

学校開放事業

等

教育活動以外の時間帯でも学校は活用されており、校内の限られたスペースに集会機能等を設けてそれらを充実させられる状況ではないが、将来、生徒の数が減れば、余裕教室の増が見込まれるため、そのスペースを有効活用していくことが考えられる

対象施設の利用者との意見交換

ゆうゆう大宮前館利用者との意見交換会

○大宮前保育園を現園舎の敷地で改築する場合、保育園の延べ床面積が増加するため、ゆうゆう大宮前館は現在と同規模の面積を確保することが難しく、高齢者の活動場所を、対象地域内で別途適切に確保する必要があります。

○この検討にあたって、ゆうゆう大宮前館の利用者の方と意見交換会を開催し、以下のような意見をいただきました。

この地域に集会施設がないため、集会施設ができるのは良い。

高齢者同士で話せる今のゆうゆう館の雰囲気が良い。

集会施設にゆうゆう館的要素を残せば良いと思う。

現在の立地はとても便利。場所が変わると不便に思う人も多くいると思う。

宮前地区に拠点となる施設がない。子どもからシニアまで集える施設ができると良いのでは。

区は高齢者の居場所を大切に考えてほしい。

今と近い場所に活動場所が欲しい。

ゆうゆう館を夜も有効に地域の人に使ってもらえれば良いのではないか。

記載の意見以外にも様々な意見をいただきました。

※今後、ゆうゆう館以外の施設利用者等にも意見聴取等を実施していく予定です。